

令和2年度

雲南市当初予算資料

(公営企業会計)

水道事業会計当初予算 概要	1P
工業用水道事業会計当初予算 概要	3P
下水道事業会計当初予算 概要	5P
病院事業会計当初予算 概要	7P

令和2年度 水道事業会計当初予算(概要)

1. 水道事業の概要

水道事業は、安心・安全な水を安定して供給することを目的としている。市内の水道の整備率は平成30年度末で98.5%、普及率は95.3%となっている。平成29年度からは簡易水道事業を上水道事業へ統合し、全体で34浄水場を有し、浄水施設及び管路等の維持管理、更新を行っている。

令和2年度は、未普及地域の解消、管路の耐震化等に取り組む。

2. 業務

[1]業務量

(単位:戸、m³)

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較	
			増 減	比率(%)
給 水 戸 数	14,960	14,963	△ 3	100.0
年間予定給水量(m ³)	3,763,302	3,808,793	△ 45,491	98.8

3. 収益的収入及び支出

[1]収益的収入(水道料金をはじめとする収益)

(単位:千円・税抜き)

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較	
			増 減	比率(%)
営 業 収 益	822,567	842,112	△ 19,545	97.7
給 水 収 益	804,116	817,394	△ 13,278	98.4
そ の 他	18,451	24,718	△ 6,267	74.6
営 業 外 収 益	483,407	510,875	△ 27,468	94.6
他会計補助金	290,631	319,831	△ 29,200	90.9
長期前受金戻入	192,328	190,521	1,807	100.9
そ の 他	448	523	△ 75	85.7
計(A)	1,305,974	1,352,987	△ 47,013	96.5

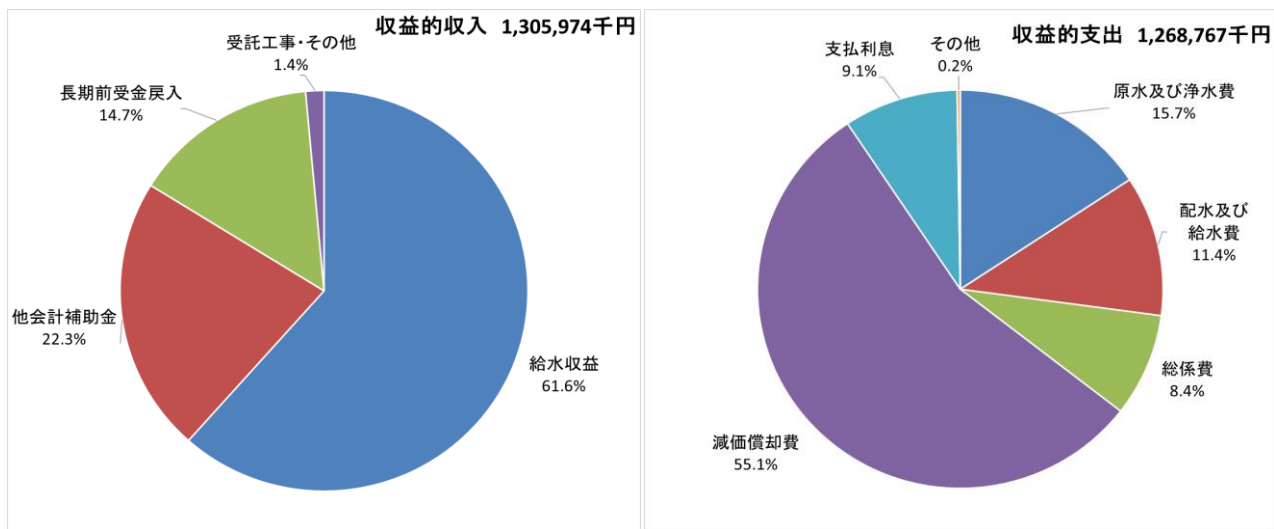
[2]収益的支出(水道の供給を行うための経常的な費用)

(単位:千円・税抜き)

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較	
			増 減	比率(%)
営 業 費 用	1,151,860	1,174,808	△ 22,948	98.0
原水及び浄水費	199,629	188,693	10,936	105.8
配水及び給水費	144,507	148,664	△ 4,157	97.2
総 係 費	106,104	104,220	1,884	101.8
減価償却費等	699,554	722,905	△ 23,351	96.8
そ の 他	2,066	10,326	△ 8,260	20.0
営 業 外 費 用	116,107	128,187	△ 12,080	90.6
支 払 利 息	115,808	127,027	△ 11,219	91.2
そ の 他	299	1,160	△ 861	25.8
予 備 費	800	800	0	100.0
計(B)	1,268,767	1,303,795	△ 35,028	97.3

[3]当期純利益(A-B)

37,207 千円 (H31:49,192千円)



4. 資本的収入及び支出

【1】資本的収入（建設改良工事や元金償還の財源となる収入）

（単位：千円・税込み）

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較	
			増 減	比率(%)
企 業 債	14,800	126,200	△ 111,400	11.7
出 資 金	6,000	0	6,000	皆増
負 担 金	85,251	42,178	43,073	202.1
他 会 計 補 助 金	124,452	128,640	△ 4,188	96.7
国 庫 補 助 金	12,200	72,744	△ 60,544	16.8
計	242,703	369,762	△ 127,059	65.6

【2】資本的支出（サービスを行うために必要な施設の建設費・改良費や企業債の償還元金に要する支出）

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較	
			増 減	比率(%)
建 設 改 良 費	251,242	412,433	△ 161,191	60.9
企 業 債 償 還 金	483,506	474,278	9,228	101.9
計	734,748	886,711	△ 151,963	82.9

【主な建設改良事業】

- 山王寺本郷地区水道整備事業（詳細設計業務） 18,000 千円
- 生活基盤施設耐震化等交付金事業（配水管改良更新） 15,000 千円
- 木次三刀屋系遠方監視設備改良事業（H31～R3の事業） 12,000 千円

資本的収入が資本的支出に対して不足する額 492,045 千円（H31:516,949千円）は、過年度分資本的収支調整額、過年度損益勘定留保資金で補てんする。

5. 職員給与費

（単位：千円）

事 項	令和2年度		令和元年度		比 較			
	人数	総額	人数	総額	増 減		比率(%)	
会計年度任用職員以外 特別職は()外書き	(12) 19	159,110	(14) 18	153,127	(△2) 1	5,983	(85.7) 105.6	103.9
会計年度任用職員	2	5,323	—	—	2	5,323		
計(A)	(12) 21	164,433	(14) 18	153,127	(△2) 3	11,306	(85.7) 116.7	107.4

令和2年度 工業用水道事業会計当初予算(概要)

1. 工業用水道事業の概要

平成7年から供用を開始し、木次拠点工業団地内の2事業所へ供給している。給水能力は日量5,200m³。主要施設は取水施設4箇所、ポンプ施設2箇所、配水池1箇所となっている。令和元年度は1月末現在で、両事業所合わせて1日平均1,803m³を送水している。

令和2年度は、配水流量計更新工事と、引き続き経費節減と適切な維持管理に取り組む。

2. 業 務

[1]業務量

(単位:m³)

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較	
			増 減	比率(%)
期 末 給 水 事 業 所 数	2事業所	2事業所	0	100.0
1日あたり有収水量(m ³)	1,730	1,630	100	106.1
パナソニックソーラーシステム製造(株)	1,700	1,600	100	106.3
ホシザキ(株)	30	30	0	100.0

●パナソニックソーラーシステム製造(株)は、契約水量を1,600m³/日、超過水量を100m³/日と見込んでいる。

3. 収益的収入及び支出

[1]収益的収入(水道料金をはじめとする収益)

(単位:千円・税抜き)

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較	
			増 減	比率(%)
営 業 収 益	47,724	44,743	2,981	106.7
給 水 収 益	47,724	44,743	2,981	106.7
営 業 外 収 益	1,360	1,375	△ 15	98.9
長 期 前 受 金 戻 入	1,349	1,349	0	100.0
そ の 他	11	26	△ 15	42.3
計(A)	49,084	46,118	2,966	106.4

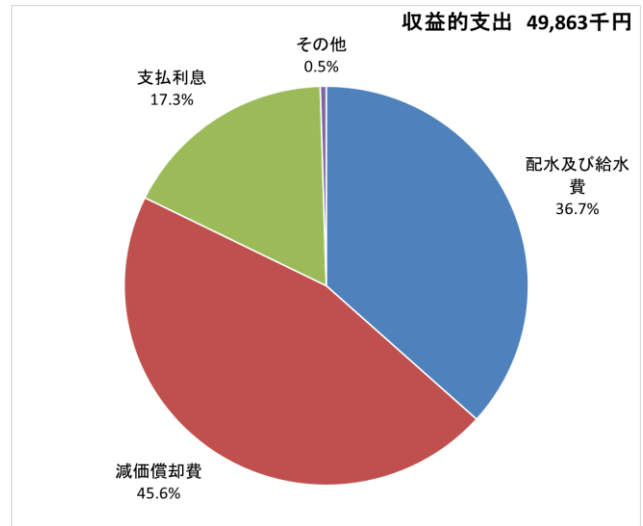
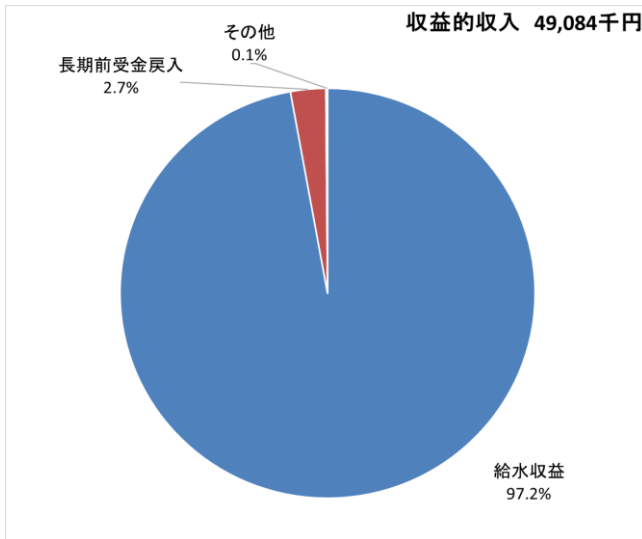
[2]収益的支出(水道の供給を行うための経常的な費用)

(単位:千円・税抜き)

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較	
			増 減	比率(%)
営 業 費 用	41,059	45,229	△ 4,170	90.8
配 水 及 び 給 水 費	18,280	18,628	△ 348	98.1
減 価 償 却 費 等	22,742	25,851	△ 3,109	88.0
そ の 他	37	750	△ 713	4.9
営 業 外 費 用	8,604	9,393	△ 789	91.6
支 払 利 息	8,604	9,393	△ 789	91.6
予 備 費	200	200	0	100.0
計(B)	49,863	54,822	△ 4,959	91.0

[3]当期純利益(A-B)

△ 779 千円 (H31年度:△8,704千円)



4. 資本的収入及び支出

[1] 資本的収入 (建設改良工事や元金償還の財源となる収入) (単位: 千円・税込み)

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較	
			増 減	比率 (%)
企 業 債	12,500	0	12,500	皆増
資本費平準化	12,500	0	12,500	皆増

●資本費平準化債とは、企業債の償還期間と減価償却期間との差により構造的に生じる資金不足を補うもの。

[2] 資本的支出 (サービスを行うために必要な施設の建設費・改良費や企業債の償還元金に要する支出) (単位: 千円・税込み)

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較	
			増 減	比率 (%)
建 設 改 良 費	1,047	0	1,047	皆増
企 業 債 償 還 金	34,632	36,346	△ 1,714	95.3
計	35,679	36,346	△ 667	98.2

資本的収入が資本的支出に対して不足する額 23,179 千円 (H31: 36,346千円)は、過年度損益勘定留保資金で補てんする。

5. 職員給与費

職員給与費は、業務実態に合わせ、業務量に応じた額を水道事業会計との業務委託契約とする。(予定額847千円)。

令和2年度 下水道事業会計当初予算(概要)

1. 下水道事業の概要

令和2年度から木次三刀屋公共下水道事業及び大東・加茂特定環境保全公共下水道事業に、地方公営企業法を適用する。

対象区域の面整備はほぼ完了し、平成30年度末の接続率(水洗化率)は85.7%である。

令和2年度は、雲南市汚水処理施設整備構想に基づく統廃合事業と、雲南市ストックマネジメント計画に基づく老朽化施設の更新事業に取り組む。

2. 業務

[1]業務量 (単位:件、m³)

事 項	令和2年度
排 水 件 数	14,960
年 間 総 排 水 量 (m ³)	3,763,302

3. 収益的収入及び支出

[1]収益的収入 (下水道使用料をはじめとする収益) [2]収益的支出 (汚水の処理を行うための経常的な費用)

(単位:千円、税抜き)

事 項	令和2年度
営 業 収 益	262,340
下水道使用料	206,767
他会計負担金	15,232
そ の 他	40,341
営 業 外 収 益	730,094
他会計補助金	515,172
長期前受金戻入等	214,922
計(A)	992,434

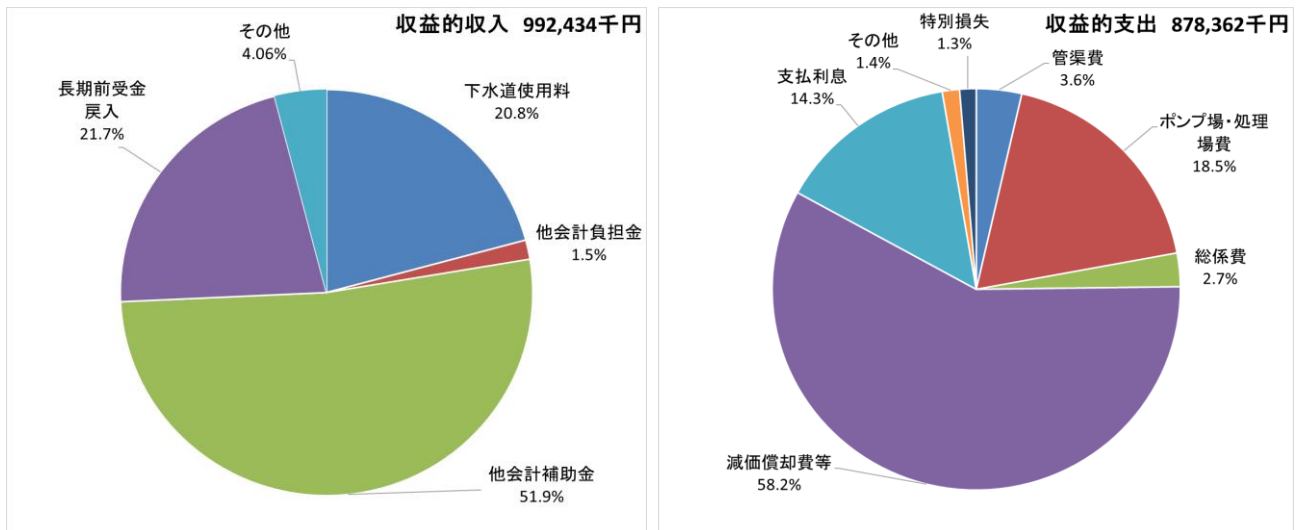
(単位:千円、税抜き)

事 項	令和2年度
営 業 費 用	729,977
管 渠 費	31,516
ポンプ場費・処理場費	162,562
総 係 費	23,717
減 価 償 却 費 等	511,299
そ の 他	883
営 業 外 費 用	136,293
支 払 利 息	125,763
そ の 他	10,530
特 別 損 失	11,492
予 備 費	600
計(B)	878,362

[3]当期純利益(A-B)

114,072 千円

※当期純利益は、資産維持費(施設・設備等の資本を維持するために将来の事業用資産の建設改良・再構築等に充当されるべき額=将来の投資を想定したもの)に充てるべきものであるが、一部は決算時に議会の議決により資本的収支不足額に充てる計画としている。



4. 資本的収入及び支出

【1】資本的収入（建設改良工事や元金償還の財源となる収入）

（単位：千円、税込み）

事 項	令和2年度
企 業 債	218,900
建設改良事業	68,900
資本費平準化	150,000
負 担 金	102,240
他会計負担金	100,423
受益者負担金	1,817
国 庫 補 助 金	62,500
計	383,640

【2】資本的支出（サービスを行うために必要な施設の建設費・改良費や企業債の償還元金に要する支出）

（単位：千円、税込み）

事 項	令和2年度
建 設 改 良 費	145,346
企 業 債 償 還 金	605,759
計	751,105

【主な建設改良事業】

- 公共下水道汚水施設整備事業 58,000 千円
- 大東町地区特環施設整備事業 16,300 千円
- 加茂町地区特環施設整備事業 57,100 千円

資本的収入が資本的支出に対して不足する額 367,465 千円は、
当年度分資本的収支調整額、当年度分利益剰余金、当年度分損益勘定留保資金で補てんする。

5. 職員給与費

事 項	令和2年度	
	人数 (人)	総額 (千円)
会計年度任用職員以外 特別職は()外書き	(12) 3	30,760
会計年度任用職員	0	0
計(A)	(12) 3	30,760

令和2年度 雲南市病院事業会計当初予算(概要)

1. 経営方針

- (1)雲南医療圏域の2次医療機関との連携強化を図る。
(2)地域医療を担う医療職(医師、看護師等)の育成及び、スキルアップを図る。

2. 業務

(1)病院事業

(単位:人)

病床数(281床) 患者数区分	令和2年度		令和元年度		1日平均患者数比較	
	年延患者数	1日平均患者数	年延患者数	1日平均患者数	増減	比率(%)
入院	91,980	252.0	91,866	251.0	1	100.4
外来	99,630	410.0	98,810	410.0	0	100.0

(2)訪問看護事業

事項	令和2年度	令和元年度	比較	
			増減	比率(%)
年延利用者数	7,290	7,230	60	100.8

(3)診療所事業

(単位:人)

事項	令和2年度		令和元年度		1日平均患者数比較	
	年延患者数	1日平均患者数	年延患者数	1日平均患者数	増減	比率(%)
患者数	8,200	36.0	8,300	31.8	△100	98.8

3. 収益的収入及び支出

(1)収益的収入

(単位:千円)

事項	令和2年度	令和元年度	比較	
			増減	比率(%)
医業収益	4,040,054	3,990,077	49,977	101.3
医業外収益	426,985	393,233	33,752	108.6
訪問看護収益	61,455	60,951	504	100.8
診療所収益	105,872	102,954	2,918	102.8
特別利益	0	9,200	△9,200	0.0
計	4,634,366	4,556,415	77,951	101.7

※入院収益診療単価のアップによる増額

(2)収益的支出

(単位:千円)

事項	令和2年度	令和元年度	比較	
			増減	比率(%)
医業費用	4,831,566	4,790,215	41,351	100.9
医業外費用	192,523	192,849	△326	99.8
訪問看護費用	66,847	66,018	829	101.3
診療所費用	119,975	118,190	1,785	101.5
特別損失	0	221,500	△221,500	0.0
計	5,210,911	5,388,772	△177,861	96.7

※職員給与費 323人(正職277人、会計年度フルタイム46人)、会計年度パート160人・・・合計483人
2,959,521千円(令和元年度266人2,801,438千円 ※臨時的職員除く)

(3)経常損益 △576,545千円(令和元年度△620,057千円)

(4)当期純損益 △576,545千円(令和元年度△832,357千円)

4. 資本的収入及び支出

(1)資本的収入

(単位:千円)

事項	令和2年度	令和元年度	比較	
			増減	比率(%)
企業債	107,300	554,000	△446,700	19.4
一般会計出資金	201,656	221,795	△20,139	90.9
投資償還収入	0	900	△900	0.0
計	308,956	776,695	△467,739	39.8

(2)資本的支出

(単位:千円)

事項	令和2年度	令和元年度	比較	
			増減	比率(%)
建設改良費	107,390	560,000	△452,610	19.2
企業債償還金	351,742	383,749	△32,007	91.7
投資その他の資産	600	0	600	#DIV/0!
計	459,732	943,749	△484,017	48.7

資本的収入が資本的支出に対して不足する額 150,776千円(令和元年度167,054千円)

※過年度損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てん。

5. 内部留保資金

(単位:千円)

事項	令和2年度	令和元年度	比較	
			増減	比率(%)
単年度内部留保資金	△27,358	△109,238	81,880	399.3
繰越内部留保資金	1,419,798	1,330,674	89,124	106.7